

YcY LETTER

わいわい通信 No. 5

R2/10/22



中学部1年生では、国語の授業で俳句を学びました。地域で活動されている俳句サークル「だんだん句会」の皆様のお力添えで、御自身の俳句の紹介や生徒達の俳句作りのサポートをいただきました。

生徒が作った俳句（秋をテーマに作りました）

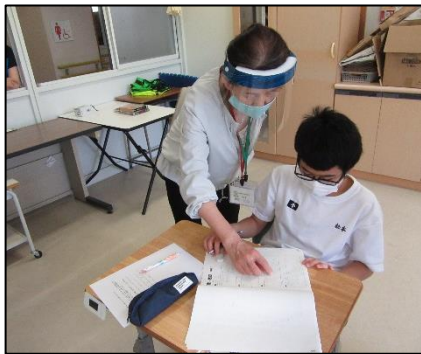
【こおろぎ】 こおろぎが リーンリーンと ないている

【秋桜】 秋風に コスモスゆれて すずしそう

【鮭】 しゃげは塩 しゃげ川におよぐ いくらがおいし

【松茸】 松茸や 七輪の上 香り出す

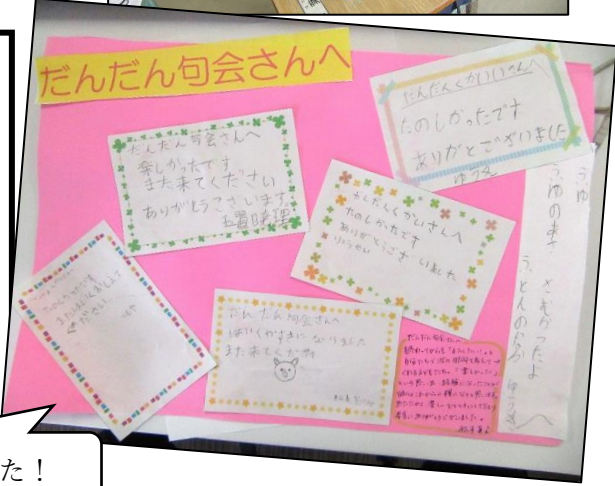
【もみじ】 秋が来た きれいな赤い 歩く道



交流当日は、だんだん句会の皆様の俳句を見て、興味・関心が広がりました。生徒達が意欲的に作る姿を見て、だんだん句会の皆様も感心してくださり、たくさん褒めていただけたことが生徒たちの自信につながりました。

この取組が終わってからも、生徒たちから「また作りたい！」という声や、自ら五七五の音に当てはめて遊んでいる姿を見るようになりました。生徒達にとって貴重な経験となりました。

お礼の手紙を書きました！



だんだん句会の皆様ありがとうございました。